

不 妊

俵ⅴFクリニック

男女ともに健康な身体づくりが大切
 体質改善で妊娠できるケースも



俵史子 理事長

不妊治療専門医院の俵ⅴFクリニックは、その人に合った「オーダーメイド治療」が特徴。また「妊娠・出産には、健康な身体づくりが大切」と不妊症になる前の予防医学も視野に入れ、体質改善の指導にも力を入れている。俵史子理事長は「不妊症は治療が必要な人もいれば、体質改善で妊娠できる身体になる人もいます。当院では、そういった人の妊娠力を引き上げるサポートもしています」と話す。そして、不妊との関係で男女ともに気をつけたいのが「飲酒」「喫煙」「肥満」だという。

「飲酒に関しての、アメリカで行われた飲酒と不妊治療の成績に関する調査では、日常的にかなりの量のアルコールを摂取するカップルは、それほど摂取していないカップルに比べて出産に至る確率は20%程低く、受精率は半分程度になってしまおうというデータが出ています。喫煙は、女性の場合には女性ホルモンの分泌を抑えられるほか、卵子の老化を早めるといふデータがあります。一方、男性の場合には造精機能が低下し精子の数が少なくなるうえ、精子の奇形率も高くなる傾向にあります。また肥満も女性の場合には排卵や着床に悪影響で

す。標準体重より20%体重過多の場合、不妊症のリスクが2倍になるといふデータが報告され、排卵障害が起る可能性もあります。また肥満男性のカップルにおける生児出産の割合も正常BMIの男性カップルよりも84%低下するというデータもあります」。そのほか特に女性は「冷え」にも注意が必要。「妊娠を考えている人はなおさらで、不妊の原因の一つになつてしまうこともあると考えています。当院ではウォーキングや半身浴などの生活習慣の改善をすすめています」。

不妊は夫婦ごとに要因が異なるため「治療が必要か、そうでないのか判断がつかない人は、気軽に相談し来てほしいですね」。

問い合わせは054・288・2882